

放火による火災を防ぐために



近年、放火による大型店舗、車輛、住宅火災がテレビ等で報道されています。放火による火災は、深夜もしくは人目の付かない場所から発生します。放火による火災を防ぐため家のまわりには燃えやすい物を置かないなどの「放火されない環境づくり」が大切です。

放火を防ぐポイント



家のまわりに燃えやすいものを置かない。



物置・車庫には鍵を



ゴミは収集日に

地域ぐるみで
放火防止に
取り組みましょう



このほかにも...
・車から降りるときは鍵をする。
・アパート、マンションの階段には燃えやすい物を置かない。などがあります。

紙面に対するお問い合わせは

留萌消防組合消防署 予防課
電話 0164-42-2211
直通 0164-42-2296
留萌消防組合小平支署 予防係
電話 0164-56-2221
留萌消防組合鬼鹿支署
電話 0164-57-1253



春の火災予防運動 (4月20日～4月30日)

《全国统一標語》

『火は消した？ いつも心に きいてみて』

《留萌消防組合テーマ》

『火災から 生命を 守ろう』

午後8時サイレン吹鳴



春の火災予防運動が
実施されます



4月20日から4月30日までの間、
「火は消した？ いつも心に
きいてみて」

を統一標語に春の火災予防運動が実施されます。
陽気に誘われ出かける機会の多くなるこの季節、火に対する警戒心がおろそかにならないよう事業所内、家庭内で話し合います。
また、自然災害(地震など)に対する日頃の準備なども事業所内、家庭内で話し合ってみてはいかがでしょうか？
留萌消防組合では火災予防運動期間中、火災防ぎょ訓練、住宅防火展など、さまざまな行事を通じて火災予防を訴えてまいりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。
また、期間にかかわらず防火教室(消火訓練、防火映画など)を受け付けておりますので事業所、町内会、サークル単位でのお申し込みをお待ちしております。

7つのポイントとは...

3つの習慣

寝たばは、絶対やめる
ストーブのそばには燃えやすい物を置かない
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

逃げ遅れを防ぐために、住宅火災警報器を設置する。
寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。
お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



平成17年危険物取扱者試験事前講習会開催のお知らせ

平成17年5月22日(日)に実施される第1回危険物取扱者試験の受験者を対象に事前講習会を次のとおり開催します。
希望される方は平成17年4月18日(月)までにお申し込み下さい。

講習会日程

平成17年4月25日(月)から4月28日(木)までの4日間で実施します。

講習申込先

留萌危険物安全協会
(留萌消防署予防課保安係)まで。

問い合わせ先

留萌消防署予防課保安係にお問い合わせ下さい。
☎42-2295

